

平成 21 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社武井工業所
 代表者名 代表取締役社長 中山 芳博
 問合せ先
 役職・氏名 取締役管理本部長 武井 厚
 電話 0299-24-5216

平成 2 1 年 6 月期第 2 四半期累計期間業績予想（非連結） 及び通期業績予想（非連結）の修正に関するお知らせ

平成21年6月期(平成20年7月1日～平成21年6月30日)の業績予想について、平成20年8月18日付当社「平成20年6月期 決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 21 年 6 月期 非連結業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間（平成 20 年 7 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	2,470	28	24	7	1円98銭
今回修正(B)	2,265	28	75	69	19円60銭
増減額(B-A)	205	56	51	76	-
増減率	8.3%	-	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年6月期第2四半期)	2,251	31	61	74	20円97銭

(2) 修正理由

売上高については、民間土木建設投資の落込みや道路特定財源問題による公共事業の発注延期などの要因もあり前回予測を下回る見込みですが、公共投資の縮減傾向に対応するため民間建築部材のスポット受注に取り組んだ成果などにより前年同期並の水準は確保できる見込みです。

損益面については、主要原材料費の暴騰に対処するため製品売価への転嫁に取り組んだところ一定の成果は得られたものの、景気後退の影響により相対的に売価の高い製品の売上減少が大きく、原材料費高騰に伴うコストを吸収するには至らなかったことや、平成20年11月に会社更生手続きを申し立てたオリエンタル白石株式会社に対する売掛債権約1千5百万円を貸倒引当金として計上するなど、不良債権の発生(貸倒引当金繰入総額2千8百万円)もあったことから、前回予測を下回る見込みです。

なお、前回予測では第2四半期決算時に法人税等調整額3千6百万円を見込んでいましたが、繰延税金資産の回収可能性について検討いたしました結果、現在の経済環境においては不確実性が増していると判断し、今回予測においては見込んでおりません。

(3) 通期(平成20年7月1日~平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	5,400	200	100	127	35円86銭
今回修正(B)	5,200	200	100	91	25円69銭
増減額(B-A)	200	-	-	36	-
増減率	3.7%	-	-	28.3%	-
(ご参考)前期実績 (平成20年6月期)	5,056	235	109	89	25円24銭

(4) 修正理由

売上高については、下半期に入った現時点までの受注販売の状況から、第3四半期の業績はほぼ計画通りに推移する見込みであり、第4四半期の業績は政治や経済の環境から不透明感はあるものの、受託製造品の引合いが増加していることなどから計画している売上高は確保できる見込みです。つきましては第2四半期までの売上減少分を織り込み、通期売上高を52億円に修正いたします。

損益面については、各種原材料価格の値下がり効果及び上場廃止による上場関連費用のコストダウン効果により第2四半期までの利益不足分を補えるものと見込んでおり、営業利益及び経常利益は前回予想に変更はございません。当期純利益については前述(2)の通り、繰延税金資産の回収可能性に不確実性が増加しており、今回予測では法人税等調整額を見込まないことから9千1百万円に修正いたします。

以 上